5/5

文化の振興発展に尽力 功績を称え歌碑を建立

建立された歌碑と松並夫妻

短歌を通して地域文化を振興されている松並武夫さんと敦子さん夫妻の功績を称え、5月5日、東八幡神社境内（中田町）に夫妻の歌碑が建立されました。

歌碑の除幕式には市長や市議会議長、関係者らが参加し、夫妻の短歌が刻まれた黒御影石製の歌碑が披露されました。

松並武夫さんは、広報こまつしま『花みずき歌壇』の選評をされているほか、夫妻で短歌の普及に努めています。

5/13

夢や希望をのせて 子どもらが御輿を担ぐ

小松島春のまつり・金長まつりが5月13日、市総合グラウンドや金長神社境内で開催され、稚児行列や子どもみこし、もち投げ大会、阿波踊りなど多彩なイベントが行われました。

今年で30回目の節目を迎えた同まつりでは、30周年記念として豪華景品が当たる大ビンゴゲームやラッキー抽選会なども催され、会場は大勢の参加者らで大いに盛り上がっていました。

タヌキみこしを威勢よく担ぐ児童ら

5/20

小松島の将来を考えて シンポジウムを開催

これからの小松島のまちづくりを考える『都市計画シンポジウム』が学識者や市内関係団体から講師を迎えて、市ミリカホールで5月20日に開催されました。

およそ300人が参加した同シンポジウムでは、徳島大学大学院の山中英生教授の基調講演やパネルディスカッションが行われ、小松島の魅力あふれるまちづくりとなるよう、熱心に意見が交わされていました。

パネルディスカッションの様子

5/20

いつまでもお元気で 西﨑茂子さん満百歳を祝う

元気に満百歳を迎えられた西﨑茂子さん

坂野町の西﨑茂子さんが5月20日、満百歳の誕生日を迎えられ、稲田市長や県職員らが西﨑さんの自宅を訪問し、祝い状や記念品を贈り長寿を祝いました。

西﨑さんは明治45年生まれ。食事も毎食しっかり摂られ、元気そのもの。若い頃から畑仕事をして体を動かしてきたほか、手先が器用だったため得意の手芸で日々楽しんで過ごされてきたことが長生きの秘訣だそうです。

災害時の協力協定を 四国電気保安協会と 締結

大災害に備えて、ライフラインの1つである電気設備の早期復旧を図るため、一般財団法人四国電気保安協会と小松島市が「災害時における応急対策活動に関する協力協定」を結び、5月14日に市役所で調印式が行われました。

調印式には、稲田市長と同協会の溝渕昌弘理事長が協定書に署名捺印し、文書を交換。当協定の締結により、今後、災害が発生した場合、避難所などの応急復旧を迅速に進めることが可能となりました。

協定書を交換した稲田市長（左）と溝渕理事長（右）

＜定期券・回数乗車券のお求めは小松島市営バスまで。☎32・1111＞